

努力賞

あいさつをすれば

荒川区立尾久宮前小学校一年

福井 実子

やなぎ田せんせい、このおはなしは、にじうおとくじらがけんかになってしまったおはなしです。わたしはけんかにならないほうほうがあったとおもいます。

くじらのいけなかったところは、まいにちなにもいわずに、じつとさかなたちをみていて、さかなたちをいやなきもちにさせたことです。くじらもきれいなうろこをみていただけとはなせば、くじらのきもちが、さかなたちにつたわったかもしれません。

にじうおたちのわるかったところは、くじらが

なにをおもっているのかわからないのに、とげとげことばをゆったことです。にじうおたちもくじらになにをしているのかきけばよかったとおもいます。そうすれば、おたがいのきもちがわかったかもしれません。

はなせばもんだいは、あつというまにかいけつするかもしれません。まずは、はなしあわないとなかよくもなれないし、りゆうもきいたりゆったりできないとおもいます。

おともだちとなかよくなれるさいしょのことばは、ごあいさつです。くじらとにじうおがはじめてあったとき、しっかりとごあいさつをしていれば、なかよくおともだちになれたとおもいます。

ほかに、にじうおのすごいところは、にじうおがわるかったなあとおもって、ゆうきをだしてく

じらにひとりであやまりにいったところです。でももつとすてきなのは、なかまたちみんなであやまりにいくことだったとおもいます。そうしたらとてもやさしいおさかなたちになれたとおもいます。

もし、わたしが知らないおともだちにじっとみられていたら、じぶんからごあいさつをします。そして、なぜじつとみていたかをききます。とげとげことばではなくて、ふわふわことばをつかっていっぱいおはなしをして、きもちよく、すぐにおともだちになりたいです。